

定例市長記者会見録

日 時：2月18日(金) 午後2時～2時30分

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、読売新聞、中部経済新聞、共同通信

本日の案件は7つです。

1番目は「名古屋鉄道(株)×一宮市 EMOTION!一宮篇の取り組み」です。名古屋鉄道株式会社様に沿線自治体の魅力を発信する「EMOTION!」というプロモーション事業がありますが、本日から「一宮篇」がウェブサイトやポスター、テレビCMで公開されます。そして、3月1日から5月31日まで、名鉄一宮駅までの往復割引乗車券に一宮おでかけバス手形引換券と一宮市内12店舗から2店舗を選べるモーニング券をセットにした「一宮モーニングきっぷ」を発売します。

2番目は「市民開放プール事業を廃止」です。毎年7～8月に都市公園や小・中学校のプールを開放してきましたが、利用者数は1990年の延べ10万人以上から、2019年には1万人台まで減少しています。最近では日焼けを避けるなどの健康意識への変化もあり、利用者の減少は顕著です。併せて開放時の監視員の確保も年々困難になっていますので、夏休みのプール開放をやめさせていただくよう3月議会に提案する予定です。

3番目は「第67回おりもの感謝祭一宮七夕まつり ミス七夕・ミス織物(コンテスト)の廃止及び今後の方針」です。コンテストへの応募者がこの10年で減少傾向にあること、ジェンダーの観点からも時流に合っていません。ここ2年はコロナ禍により中止もしくは規模を縮小してきたことなどを踏まえ、関係者で話し合った結果、第67回からはミス七夕・ミス織物は廃止することにしました。代わりに、若者が気軽に大勢で参加できるよう「学生サポート隊」(仮称)を募集し、七夕まつりの企画や運営などに携わっていただく予定です。

4番目は「『1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭』を開催!」です。7月31日(日)に開催します。株式会社かんぼ生命様やNHK、NPO法人全国ラジオ体操連盟様主催によるものです。併せてアトラクションやお楽しみ抽選会なども実施します。

5番目は「令和3年度3月補正予算(案)に計上された主な事業」です。新型コロナウイルス感染症対策に関連する事業費が多くなっており、主なものとしましては、「ワクチン接種事業の推進」で、ワクチンの3回目接種前倒しに要する事業費を5億円近く増額します。その他の事業のうち主なものとしましては、国から国土強靱化のための補正予算が多く付きましたので、これに対応し各種工事を進めてまいります。また、各種基金の積立てとしまして、公共施設整備等基金積立金14億円と財政調整基金積立金10億円の合計24億円の積み立てを提案します。

6番目は「令和4年度一宮市 予算の概要」です。歳入につきましては、歳入中の市税収入がコロナ前の水準に回復しています。市税収入は過去に500億円に到達したこともあり、

そこには届きませんが 498 億 5000 万円で、ほぼ過去最大と言える金額です。次に、歳出は一般会計 1221 億 6000 万円、コロナ対策等のため過去最大規模となりました。全会計も同じく最大規模となっています。

7 番目は「令和 4 年度 一宮市の予算 イチ推し 20」です。

No. 1 「市制施行 100+1 周年記念事業」

本市は昨年 100 周年を迎えましたが、コロナ禍で記念事業の規模を縮小せざるを得ませんでしたので、100 周年記念事業への寄附を活用し「承久の乱 800 年関連イベント」や「市川房枝生誕 130 周年記念シンポジウム」などの各種事業を行います。

No. 2 「自転車ヘルメット購入補助事業」

現在、7～18 歳の児童・生徒と 65 歳以上のお年寄りを対象としている補助を、全年齢に拡大します。

No. 3 「スマート窓口システム導入事業」

市民の皆さんにデジタルの利便性を感じていただけるよう、できるだけ書類への記入をなくし、受付時間を短縮するためのシステムを導入します。新型コロナウイルス感染症に対応する国の交付金を活用します。

No. 4 「高齢者福祉タクシー料金給付事業」

90 歳以上の方にタクシーの初乗り運賃補助のための利用券を交付していますが、令和 4 年 10 月から、その対象年齢を 85 歳以上に拡大します。

No. 5 「児童館整備事業」

放課後児童クラブの待機児童対策として、児童館の大規模改修を続けてまいります。

No. 6 「新型コロナウイルス感染症対策行政検査等事業」

これまで実施してきた内容を、引き続き着実に進めてまいります。

No. 7 「公共施設等再生可能エネルギー設備導入調査事業」

太陽光発電設備導入のため、設置可能な公共施設での発電量や経済効果などについて調査を行います。

No. 8 「一宮市地域新電力会社設立事業」

現在、ごみ発電の余剰電力を地域外へ年間約 2000 万キロワット売却し収入が約 2 億円あります。一方、公共施設で用いる電気を、地域外から年間約 6500 万キロワット購入し年間 12 億円を支払っています。こうした状況の改善を目指し、余剰電力の売電と公共施設の電気購入を地域内で行うための新電力会社設立の準備を進めてまいります。

No. 9 「ごみ出し辞典改訂・ごみ分別新アプリ導入事業」

「ごみ出し辞典」を 8 年ぶりに改訂します。また「ごみ分別アプリ」をスマートスピーカーに対応させるようにします。

No. 10 「ごみボックス設置補助事業」

カラスなどによるごみの飛散防止と、新型コロナウイルス感染のリスク増大を防ぐため、ごみボックスを設置する町内会に、1 台あたり 40,000 円を限度として材料費の 10 分の 9 を補助します。新型コロナウイルス感染症に対応する国の交付金を利用します。

No. 11 「公共施設の LED 化事業」

公共施設の省エネ化と二酸化炭素排出量削減のため、全庁的に取り組んでまいります。

No. 12 「日光川 2 号放水路関連事業」

雨水浸水対策として、県との連携により実施します。令和 7 年度までの事業期間中に総額 1 億 8400 万円をかけて実施します。

No. 13 「通学路安全確保事業」

安全対策が必要な市道 180 カ所にカラー塗装等を実施し、交通安全対策を強化・徹底します。

No. 14 「富田山公園再整備関連事業」

富田山公園で現在、グランピング設備の整備が進んでいます。さらに魅力を高めるため、森林環境譲与税を活用しながら整備を進めてまいります。

No. 15 「救急事業」

消防本部の中に消防救急セクションを設置し、より効率的・効果的な対応を目指します。

No. 16 「サポートルーム設置事業」

不登校の生徒や不安等を抱えて教室に入れない生徒の居場所づくりと、自立に向けた支援を、まず 3 中学校で実施します。

No. 17 「国際芸術祭一宮会場事業」

国際芸術祭「あいち 2022」の会場自治体として、独自の事業を実施します。

No. 18 「美濃路史跡等整備事業」

美濃路起宿の高札場を復元するとともに、市川房枝さんの生家跡地を公園として整備します。

No. 19 「ベッドサイド情報端末設置事業」

患者さんのベッドサイドに情報端末を設置することで、患者さんと病院側とのやり取りを迅速・効率化し、医療の質を向上させます。

No. 20 「水道改良事業（基幹道路耐震化事業）」

木曾川地区において、大規模地震発生時の飲料水確保と耐震化率向上のため、基幹管路の耐震化を行います。

7 番目の「令和 4 年 3 月市議会定例会単行議案」につきましては、1 項目だけ説明させていただきます。「議案第 18 号 一宮市副市長の定数を定める条例の一部改正について」です。名岐道路や新濃尾大橋に代表されるように、まちづくりが多角的に進む中で本市がより主体的に指揮監督を行えるよう、副市長を現行の 1 人から 2 人への増員を提案するものです。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■第 67 回おりもの感謝祭一宮七夕まつり

ミス七夕・ミス織物（コンテスト）の廃止及び今後の方針

（記者）今までミス七夕・ミス織物は、キャラバン隊などの七夕まつりのPR活動を行ってきました。学生サポート隊は同様の方法でPRを行うのか、全く別の方法でPR活動を行っていくのですか？

（市長）これまではミス七夕・ミス織物のキャラバン隊が、主にマスコミの皆さまへの対応や、多額のご寄付をいただいた企業などに訪問していました。同様の方法を継続するかは、集まってくれた学生サポーターからの意見を聞きながらPRの方法を検討していきます。

（記者）社会人だといろいろと制約があるので、夏休みに活動できる大学生を募集するのですか？

（市長）はい、そうです。

■令和4年度の予算関係

（記者）新年度予算の編成のコンセプト、イチ推し20の中でも特に推しの事業を教えてください。

（市長）市長に就任して7年が経過しますが、予算は未来志向で編成したいと思い、毎回査定してきました。今回は、最近定着してきたSDGsの『S：サステナブル』、別の言葉にいいかえると『グリーン：緑』がある潤いのあるまちづくりを意識して、新年度予算を策定しました。今回のイチ推し20のプロジェクトの内、5項目が環境部の仕事です。許可基準を満たしたうえで開発は行います。その上で、緑があり潤いのあるまちづくりが継続できるかを、色々な部署が市民目線で意識をもって業務にあたってもらいたいと思っています。未来志向ということで、未来を担う子供たちが主役となるまちづくりを考えたときにNo.5「児童館整備事業」、No.13「通学路安全確保事業」、No.16「サポートルーム設置事業」があります。

（記者）財政調整金についてご説明ください？

（市長）令和2年度末に約34億円ありましたが、令和3年度の当初予算で27億円取り崩し残額が約7億円でスタートしました。今年度は51億円を積み立てることができましたので、年度末には58.7億円まで戻せそうです。そのうち、令和4年度予算で32億円を取り崩す予定にしておりますので、令和3年度の残高は26.7億円になる見込みです。

（記者）承久の乱800年関連イベントについて、真清田神社に何か痕跡があるのですか？

（市長）NHKの大河ドラマのプロデューサーからは、真清田神社を使った記録があるとも聞いています。

■令和4年3月市議会定例会単行議案

（記者）議案第18号について、増員となる副市長の業務は、まちづくりに特化されるのですか？

(市長) 業務としては、農業なども含め、市の都市開発を全般的に指揮監督していただくポストをイメージしています。

(記者) 議会への提案は、いつですか？

(市長) 副市長の名前を含めた提案は、3月議会の最終日になります。